

第1回 TOKYO強靱化プロジェクト推進会議 議事要旨

【日 時】令和5年4月28日（金）13時30分～14時00分

【場 所】特別会議室27（オンライン併用）

【出 席 者】副知事、東京都技監、政策企画局長、都市整備局長 ほか

【議事要旨】

■ 「TOKYO強靱化プロジェクトのアップグレード（案）」について

- ・ 昨年12月に公表した本プロジェクトは、都の防災対策として大きな一歩を踏み出すものであり、国内外のメディア、都議会でも数多く取り上げられている。気候変動による風水害の頻発化・激甚化や、首都直下地震などの自然災害に備える強靱化の取組は、待ったなしの状況であり、都民からの期待や関心も非常に高い。
- ・ 本プロジェクトは東京における防災の羅針盤となるとともに、ダイナミックな都市活動を支える基盤となっていく。
- ・ 今年度は、プロジェクトに掲げた施策を推進する局面に入る。また、東京を取り巻く状況は刻一刻と変化しており、時機を逸することなく、施策をブラッシュアップしていく必要がある。
- ・ 今年度は関東大震災100年の節目の年であり、都はもとより国も様々な取組を予定している。特別な年であるため、アップグレードも時機を得たものである。
- ・ 今年度取り組むプロジェクトのアップグレードに向けて、関係局が緊密に連携して検討を進めていくため、本推進会議を中心に検討・推進体制を継続する。
- ・ 都民を災害から守ることは言うまでもないが、行政の最も重要な役割の1つ。本プロジェクトは、実行していくフェーズにあり、アップグレードしていくことも非常に重要である。
- ・ 今年度アップグレードする内容を含め、本プロジェクトの事業は「未来の東京」戦略と一体的に推進していく。
- ・ トルコ・シリア大地震の発生、IPCC第6次統合報告書の公表など、危機を取り巻く状況が今も刻々と変化している。こうした状況が本プロジェクトにもたらすインパクトを踏まえ、今後、取組の強化や新設について、しっかり議論し、検討を深めていく。
- ・ 風水害、地震などの対策を今後どうしていくべきかある程度見えているので、後は優先順位をつけながら実行していくことが重要である。
- ・ 東京都豪雨対策基本方針の改定や気候変動を踏まえた河川施設のあり方の策定などに精力的に取り組む、その内容をプロジェクトに反映し、より強固なものとしていく。
- ・ 事前のリスク情報をしっかり発信し共有すること、発災初動時の混乱回避のために的確な情報を伝えていくことが重要である。アップグレードを実効性のある内容とするために、情報発信の取組を磨き上げることが必要である。
- ・ 生産年齢人口が減少していく中で、担い手不足が懸念されている。必要なインフラ整備を着実に推進するため、事業の迅速化や効率化など執行力の強化について議論を進める。
- ・ 本プロジェクトの推進に当たっては、都民の共感を得ることが不可欠である。今年度は関東大震災から100年の節目を迎え、各局で様々な取組が予定されている。防災に対する関心が高まるこうした契機も捉え、都市の強靱化に向けた気運醸成の取組を一層進めていく。